

長野地区社会保障推進協議会ニュース



長野地区社保協は、社会保障についての相談窓口です。

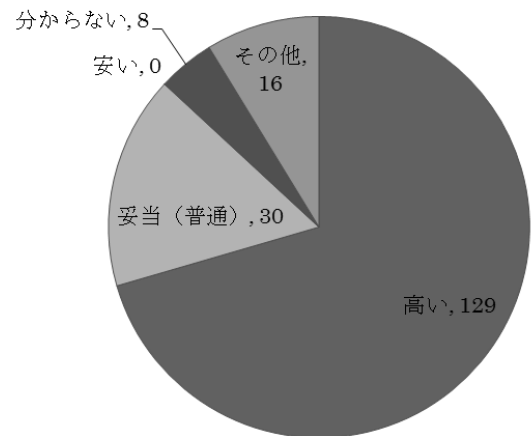
社会保障制度の改善をめざして、労働組合、医療、福祉関連の諸団体、市民団体、女性団体などが共同して運動をすすめる組織です。(活動地域：長野市、上水内郡)

記者会見/医療保険アンケート 長野市国保 183 人の声 国保料「高い」70.5% 受診抑制「ある」13.1%

長野地区社保協は記者会見をひらきアンケート結果を公表しました



国保料の金額をどう思われますか？（選択式）



長野地区社保協は昨年6月から9月に、医療保険に関するアンケートにとりくみました。アンケート結果から長野市国保加入者183人の声をまとめ、2月25日に記者会見をひらき公表しました。

アンケートでは国保料が「高い」と回答したのは129人で、70.5%（図）でした。また経済的な理由で医療機関にかかるのをがまんしたり中断したりしたことが「ある」、いわゆる受診抑制についての回答は24人、13.1%という看過できない結果です。自由記載欄には、「保険料は収入その他によって決まっていると思うが、金融機関から借入れがあるためその返済のため、保険料の納入はきびしい状態」「働いていて収入がある場合はそれほど逼迫した感はないが、年金生活になった時点では、介護保険料も上がり、支払いができるかどうか不安になる」などの切実な声が寄せられています。

3月長野市議会に国保料引き上げ中止を求める請願を提出します

長野市は来年度に国保料の引き上げ（医療分の所得割7.9%→8.2%）を計画しており、3月議会で条例改正案が提案されます。長野地区社保協はこれ以上の国保料の引き上げに反対し、引き上げ中止を求める請願を提出します。長野市が継続して努力してきた、国保特別会計への一般会計からの法定外繰入れを継続し、県や国へいっそうの財政支援を要望して、国保料の引き上げを行わないことが長野市民の生活と受療権を守ることに繋がると考えます。